

平成 21 年 3 月 31 日現在

研究種目：基盤研究（C）
 研究期間：2005～2008
 課題番号：17530139
 研究課題名（和文） 「政策の失敗」 政策の外部性とその産業間・地域間波及効果のミクロ経済理論的分析に関する研究
 研究課題名（英文） Policy failure : a microeconomic analysis on inter -industrial and inter -regional policy externalities
 研究代表者
 佐々木 弾（SASAKI Dan）
 東京大学・社会科学研究所・教授
 研究者番号:30345110

研究成果の概要：

経済政策の外部性とその意図せざる distortion に関し、ミクロ経済理論、応用ゲーム理論の枠組みを用いてモデルし、そこから定性的知見を得ることができた。成果の報告・刊行については課題期間満了時現在なお相当部分はその途上にあるが、一部既刊化に成功を収めた。

交付額

（金額単位：円）

| | 直接経費 | 間接経費 | 合計 |
|-------|-----------|---------|-----------|
| 17 年度 | 1,000,000 | 0 | 1,000,000 |
| 18 年度 | 700,000 | 0 | 700,000 |
| 19 年度 | 700,000 | 210,000 | 910,000 |
| 20 年度 | 800,000 | 240,000 | 1,040,000 |
| 年度 | | | |
| 総計 | 3,200,000 | 450,000 | 3,650,000 |

研究分野： 経済学
 科研費の分科・細目： 理論経済学
 キーワード： 理論経済、経済政策。

1．研究開始当初の背景

従前課題「地域・産業開発補助金の最適配分と法的行政的規整のミクロ経済理論的分析」(平成 15・16 年度、若手研究(B)、研究代表者：佐々木 弾)を発展的踏襲しつつ、補助金のみならず産業組織的政策提言一般へと視野拡張を目した。

2．研究の目的

いわゆる外部(不)経済とそれに起因する「市場の失敗」、更にはそれを内部化ないし是正すべき政策的介入に関する経済理論的分析の歴史は長い。本課題ではそれを更に一段階止揚し、そのような政策の「失敗」について経済理論的分析を行なった。

3．研究の方法

関連する既存研究は従来、租税論、財政論、産業組織論、貿易理論などの各論に分散していた。本課題ではこれら各論を「政策の失敗」という統一視点により横断的再解釈し、それらが情報構造なり、既存の法規整等との整合性なりに鑑み現実的政策提言に耐え得るか否かの検証を行なった。

4．研究成果

経済政策の外部性とその意図せざる distortion に関する定性的知見を得、一部成果の発表・刊行開始に成功を見た。

5. 主な発表論文等
(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 0 件)

〔学会発表〕(計 0 件)

〔図書〕(計 1 件)

Lambertini, L., Poddar, S., and Sasaki, D.,
“Efficiency of Joint Enterprises with
Internal Bargaining” (2008), Cellini, R.,
Lambertini, L. (ed.), *The Economics of
Innovation – Incentives, Cooperation, and
R&D Policy*, Emerald Group (UK), Ch.7, pp.
129 – 141.

〔産業財産権〕
出願状況(計 0 件)

取得状況(計 0 件)

〔その他〕

6 . 研究組織

(1)研究代表者

佐々木 弾 (SASAKI Dan)
東京大学・社会科学研究所・教授
研究者番号:30345110

(2)研究分担者

(3)連携研究者

分担者・連携者を特定せず、必要に応じ国内外にて共同研究を継続した。